

役場の仕事に興味・関心がある方へ

東海村役場で「オープン・カンパニー(職場見学)」を実施します!

お気軽に
ご参加ください!



村では毎年、役場の仕事に興味・関心がある方に“職場の雰囲気”をつかんでもらえるよう、インターンシップや採用試験説明会を実施しています。昨年度からは、役場の仕事をさらに身近に感じてもらえるよう「オープン・カンパニー(職場見学)」を開催しています。学校の春休み期間に開催しますので、ぜひご参加ください。

期日▼令和6年3月6日(水)

時間▼▽第1部(午前の部)…午前9時～正午
▽第2部(午後の部)…午後1時30分～4時30分

対象▼役場の仕事に興味・関心がある方
※特に、令和7年3月末卒業予定の学生の皆さんの参加をお待ちしています。

定員▼50人程度(午前・午後とも各25人程度)
※応募者多数の場合は抽選で決定します。

内容▼職場見学、先輩職員との意見交換、役場の仕事や採用試験についての説明等

申し込み▼令和6年2月23日(金・祝)の午後5時までに、「いばらき電子申請・届出サービス」(右の二次元コードからアクセス可)から申し込みください。

問い合わせ▼総務人事課人事・給与厚生担当
(☎282-1711 内線1321)※詳細は、村公式ホームページをご覧ください。



申込はこちら



HPはこちら

ふるさと歴訪
〜自然を探して〜

未来の自然環境に責任を持つ

東海村理科活動専門員

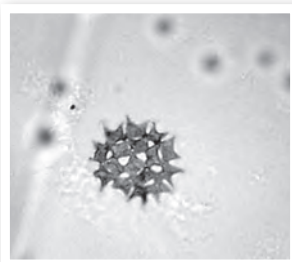
安 敦之

生物多様性、地球環境、環境倫理、生態系、絶滅危惧種……。今ほど、自然環境関連の言葉が重要視される時代はないように思います。特に「生態系」という概念は、生物同士のつながりが大事だ、という意味合いが強いため、使用頻度が高いと感じます。

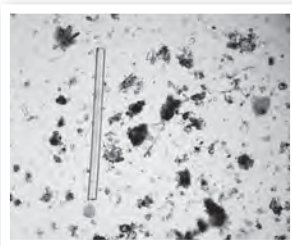
このような時代に、東海村の生態系はどうなっているのだろうかという疑問を持ったとき、皆さんはどうしますか。その一つの答えは、「自分で調べてみる」ということです。では、どうやって調べればよいのでしょうか。

自分で調べるには、「東海村の自然誌」シリーズを参考に、元東海村の自然調査会の先生方に聞いてみる、村の「まる博講座」に参加する、などの方法があります。しかし、多くの生物の関わりをいっぺんに調べるのは難しいことです。そのため、場所や生物の種類、季節などを限定して調べることをお勧めします。

今、歴史と未来の交流館で行っている子ども向け講座「とうかい子どもキャンパス2023(Tキャン)」の中には、顕微鏡で微生物を観察することが人気です。この講座ではよく、南台下の田んぼ



【フタツノクンショウモ】
(令和5年8月10日撮影)
特徴…細胞間に隙間があり、2本の角を持つ



【田んぼの中の微生物】
(令和5年10月13日撮影)

の水を採取して観察します。すると、動物性プランクトンのカイミジンコやゾウミジンコ、ツリガネムシ、アメーバのほか、植物性プランクトンのミカヅキモ、クチビルケイソウ、ユエグレナ、アオミドロ、フタツノクンショウモなどが見られます。運が良ければ、ツボウムシがゾウリムシを捕食しているところが観察できるなど、微生物同士の関わりも見られます。目には見えなけれど田んぼの中にも大きな生態系が広がっていることが分かり、感動します。

大事なことは、このように生き物を調べた後、自分なりの考えを持つことです。これは、子どもも大人も同じです。「自ら行動し、考え、そして自分なりに答えを導き出す」。それが、「東海村の未来の自然環境に責任を持つ」ということにつながっていくと考えます。